

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878



秀忠の庶子存
 か不遇な少年時
 代居せず名君に
 保科正文は三分府
 軍家光公の異母
 弟で七歳の時
 高遠藩主・保科
 正光の養子となり
 コナ一歳で高遠藩主となった

將軍の子
 孤独と不遇
 を力に変えた
 初代公津藩
 主保科正之



その後最上藩の城主更に
 23万石の公津藩の城主に任
 られると、次々と画期的な
 藩政を打ち出し
 仁政に努めた。

その後も常に
 時代を先取りし政
 策を実行、家光
 の遺言で十代將軍
 家綱の後見役と
 して江戸に詰め、飲
 用水の届かなかった江戸に
 玉川上水を開削
 した。明暦の大火災
 後の江戸に尽力復
 興に力を入れた。武
 断政治から文治政
 治へ移行させ
 徳川幕府の政治
 的基礎を確立した。
 徳川幕府の政治的
 基礎を確立した。

現在の松姫の墓



徳川三ツツ年の礎を築いた
保科の名君であった。

外景 信松院



松姫の墓
 の墓園に
 には松姫を
 守る八王子
 まで送る
 きた武田家
 旧臣が
 数名いた。
 「松が木を
 過ぎ枯木でし
 ましたので、伏見
 記念と手植
 松記念として
 保存した。
 この松姫は武田
 信玄の四女で、姉
 の目佳院と共に
 保科正之を育
 けて来た一人であ
 った。

信松院の横にある高橋家

